

平成 27 年度の事業に関する審査基準について

平成 27 年度の事業について、技術審査委員会では、次のⅠ～Ⅲの手順で技術審査を行います。

Ⅰ 公募要件の確認

公募要領の 5 (1)～(4)に掲げる条件及び 6 (1)～(8)に掲げる要件をすべて満たしていることを確認します。

Ⅱ 対象施設への適合性の検討

対象施設に適合する可能性について検討します。

Ⅲ 技術審査

Ⅰ及びⅡの結果、選定対象とした技術（以下、「選定候補」という。）について、東京都が示す「公募要領」、「事業概要書」、「技術条件書」に基づき審査を行います。

1 審査項目について

性能基準、機能性、先進性、経済性及び施工性の 5 項目について審査を行います。

2 得点について

別紙 1～3「採点基準表」に記載のとおり、各項目の重み係数と採点とを掛けあわせて、それらの合計を得点とします。

3 選定について

- ① 選定候補のうち、最高の得点のものを 1 つ選定することとし、最高の得点が複数あった場合には、あらためて検討します。
- ② 最高の得点であっても、採点基準表に記載する「総得点」の 50%未満の場合は、都が求める技術水準に達していないとみなし、選定しません。

採点基準表

(別紙1)

公募する新技術: 都立町田の丘学園改築工事の開口部の断熱・遮熱に関する技術

1. 公募要件

・適合している。 → 2. へ

・適合していない。 → 非選定

不適合要件(1つ以上で非選定)

5 (1) (2) (3) (4)

6 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)

採点基準	点数
基準(標準)を大幅に上回り、かつ、他の選定候補と比較して明らかに優れている。	3
基準(標準)を上回っていることが明らかである。	2
概ね基準を満たしている。(標準的である。)	1
基準を満たしていない。	0

2. 対象工事への適合性

・対象工事に適合する可能性がある技術である。 → 3. へ

・対象工事に適合しない技術である。 → 非選定

3. 技術審査

項目		基準	重み係数		配点
性能基準	ア 断熱性	開口部(ガラス+サッシ)の熱貫流率が $3.5W/m^2 \cdot K$ 以下	4	11	33
	イ 遮熱性	ガラスの日射熱取得率が0.5以下	4		
	ウ 気密性	サッシの気密性がJIS等級A-3以上	2		
	エ 光学特性	ガラスの可視光透過率が60%以上	1		
機能性		サッシの耐風圧性	1	9	27
		サッシの遮音性	1		
		ガラスの破片によるけがへの配慮	1		
		ガラスの汚損、劣化のしにくさ	1		
		自然換気への配慮	1		
		ガラス交換の容易性	1		
		廃棄処分、資源の有効利用への配慮	1		
		意匠性への配慮	1		
	その他、より機能性を高める工夫や特筆すべき事項	1			
先進性		特許等の取得状況、技術論文の公表	3	3	9
経済性		イニシャルコスト	3	6	18
		65年のトータルコスト(イニシャル+ランニング)	3		
施工性		施工実績	3	6	18
		施工上の制約条件少	3		
			総得点		105

採点基準表

(別紙2)

公募する新技術:東京都障害者総合スポーツセンター改修工事の特定天井に関する技術

1. 公募要件

- ・適合している。 → 2. へ
 - ・適合していない。 → 非選定
- 不適合要件(1つ以上で非選定)
- 5 (1) (2) (3) (4)
 - 6 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)

採点基準	点数
基準（標準）を大幅に上回り、かつ、他の選定候補と比較して明らかに優れている。	3
基準（標準）を上回っていることが明らかである。	2
概ね基準を満たしている。（標準的である。）	1
基準を満たしていない。	0

2. 対象工事への適合性

- ・対象工事に適合する可能性がある技術である。 → 3. へ
- ・対象工事に適合しない技術である。 → 非選定

3. 技術審査

項目		基準	重み係数	配点		
性能基準	ア 安全性 (次のAある いはBのいずれかで評価 する)	A 水平震度法	平25国交告771号第3第2項イ (天井面構成部材の各部分の剛性及び強度)	3	12	36
			平25国交告771号第3第2項ロ (地震動に対する安全性の検証)	3		
			平25国交告771号第3第2項ハ (天井面構成部材と壁等とのクリアランス)	3		
			平25国交告771号第3第2項ニ (風圧並びに地震以外の震動及び衝撃の適切な考慮)	3		
		B 応答スペクトル法及び簡 易スペクトル法	平12建告第1457号第11第1項第二項イ (天井面構成部材の各部分の剛性及び強度)	3		
			平12建告第1457号第11第1項第二項ロ (地震動に対する安全性の検証)	3		
			平12建告第1457号第11第1項第二項ハ (天井面構成部材と壁等とのクリアランス)	3		
			平12建告第1457号第11第1項第二項ニ (風圧並びに地震以外の震動及び衝撃の適切な考慮)	3		
機能性		点検の容易性	2	10	30	
		BCPの確保	2			
		廃棄処分、資源の有効利用への配慮	1			
		有害物質の発生	1			
		音響性能の配慮	1			
		意匠性の配慮	1			
		耐久性の配慮	1			
		その他、より機能性を高める工夫や特筆すべき事項	1			
先進性	特許等の取得状況、技術論文の公表	3	3	9		
経済性	イニシャルコスト	6	6	18		
施工性	施工実績	3	6	18		
	改修工事における制約条件への対応	3				
			合計	111		

採点基準表

(別紙3)

公募する新技術: 都立竹台高等学校改築工事の節水トイレに関する技術

1. 公募要件

・適合している。 → 2. へ

・適合していない。 → 非選定

不適合要件(1つ以上で非選定)

5 (1) (2) (3) (4)

6 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)

採点基準	点数
基準(標準)を大幅に上回り、かつ、他の選定候補と比較して明らかに優れている。	3
基準(標準)を上回っていることが明らかである。	2
概ね基準を満たしている。(標準的である。)	1
基準を満たしていない。	0

2. 対象工事への適合性

・対象工事に適合する可能性がある技術である。 → 3. へ

・対象工事に適合しない技術である。 → 非選定

3. 技術審査

項目		基準	重み係数		配点
性能基準	ア 節水性	洋風大便器は大洗浄時6.5L/回以下	6	12	36
		小便器は2.5L/回以下	6		
機能性		洋風大便器は連続使用可能	2	9	27
		臭気発生への配慮	2		
		維持管理の容易さ	2		
		洋風大便器の洗浄音	1		
		小便器の尿の飛び散り防止の配慮	1		
		その他、より機能性を高める工夫や特筆すべき事項	1		
先進性		特許等の取得状況、技術論文の公表	3	3	9
経済性		イニシャルコスト	3	6	18
		65年のトータルコスト(イニシャル+ランニング)	3		
施工性		施工実績	3	6	18
		施工上の制約条件少	3		
			総得点		108